

Accusharp社のHiPIMSコーティングシステム：性能の向上と新しい切削ソリューション



2021年11月にCemeConのCC800® HiPIMSが導入されたことで、Accusharpは工具の性能を大幅に向上させることができ、新たな市場を開拓することができます。

インドでは機械加工分野も着実に成長しており、高性能の精密工具が熱い注目を集めています。Accusharpは、インド有数の工具メーカーです。市場での地位を固め、また拡大するために、プネーにある同社は高い製造ノウハウと最新技術に頼っています。2021年11月に導入されたCemeCon社のCC800® HiPIMSにより、Accusharp社は工具の性能を大幅に向上させ、新たな市場を開拓することができます。

Accusharp Cutting Tools Pvt. Ltd.は、インドのプネーに拠点を置き、自動車、エンジニアリング、繊維、エネルギー、鉄鋼など幅広い産業向けに、ハイスと超硬合金製の特殊切削工具を開発・製造しています。同社はインド西部で最大級の切削工具メーカーです。Accusharpは最高の品質を目標としています。そのため、最新の工具研削盤と適切な光学測定技術が使用されています。当然の次のステップとして、Accusharp社はターンキー方式の社内コーティング工場に投資しました。これにより、Accusharp社は切削工具製造の全プロセスチェーンを社内で行うことが可能となり、イノベーション・リーダーとしての役割を強調することができます。

インドと世界のためのハイエンド・テクノロジー

かつてAccusharpは、精密工具のコーティングをさまざまなパートナーに依頼していました。しかし、残念ながら、工具の寿命や生産性にばらつきがありました。これは専門家たちにとっても受け

入れがたいことでした。そこでAccusharpは、独自のコーティングラインに投資し、品質管理を自らの手で行うことにしたのです。



„CemeConはインド・亜大陸で15年近く活動しています。CemeCon Indiaが提供するコーティングの高い品質とサービスは、お客様から高く評価されています。年中無休のホットラインサービスから独自のスペアパーツ倉庫まで、お客様が望むものはすべて揃っています。そして何よりも、常に有能な担当者がいます“

Manish Adwani CemeCon India社長

Accusharpにとって、ターンキープロジェクトでパートナーシップを深めるための最良の前提条件となりました。そこでAccusharpは、自社のコーティング生産用にCC800® HiPIMSへの投資を決定したのです。

その結果、同社は現在、インドでこのハイエンド技術を提供する数少ない工具メーカーのひとつとなっています。「Accusharpは長い間、インドの工作機械業界を牽引してきました。当社は、グローバルなビジネス文化を持つインドのメーカーとして広く知られています。そのため、地域企業と多国籍企業の両方にとって、高性能切削工具の最初の選択肢となっています。HiPIMS技術に投資し、HiPIMSコーティング材料に基づくコーティングを導入することで、当社は市場での地位をさらに強化することを目指しています。当社の顧客は、当社が世界クラスのソリューションを提供することを期待しています。これは、その道への新たな一歩です」と、Accusharp Cutting Tools Pvt. Ltd.のIlyas Shaikh社長は語ります。

HiPIMSコーティングで性能が大幅に向上



Accusharpは、HiPIMSコーティングシステムのシンプルな操作性に非常に満足しています。

FerroCon®はあらゆる種類の炭素鋼に納得のいくソリューションを提供します。ステンレス材と硬質機械加工では、新しいHiPIMSコーティング材SteelCon®がコーティングシーンの流れ星になりつつあります。「HiPIMSコーティングは、様々な被削材を加工する様々な用途でテストしました。その結果は納得のいくものでした。すべてのケースで工具寿命が大幅に延び、用途によっては50~80%も延びたのです。特に、加工が難しい硬い材料では、HiPIMSの技術は、精度の面で決定的な強みです」とIlyas Shaikh氏は熱く語ります。

Accusharpを納得させたのは技術的な利点だけではありません。2021年11月のターンキーHiPIMSコーティングラインの設置も、世界的な苦境の中、模範的な方法で行われました。Accusharpを最大限にサポートするため、CemeConの専門家たちはオンライン診断やビデオストリーム、電話、現場での直接対応など、あらゆる選択肢を駆使しました。Manish Adwaniを最も重要な橋渡し役として、インドでの約15年にわたる経験とドイツ・Würselenで集中的に培われた能力が、このプロジェクトで完璧に融合されました。「CemeConのサービスには十二分に満足しています。Manish Adwani氏は、コーティング技術に関するあらゆる質問に対して、可能な限り迅速に対応してくれます。私たちはCemeConに安心してお任せしています。私たちの営業とアプリケーションチームは、この新しいHiPIMSコーティング技術が加わることで、市場シェアがさらに向上することを楽しみにしています」と、Accusharp Cutting Tools Pvt. Ltd.のディレクター、Ayaz Shaikh氏は述べます。

Accusharp Cutting Tools Pvt. Ltd.の製造マネージャー、Sandip Patil氏とVikash Yada氏も同意します。「コーティング・ユニットの操作のやすさと、Wadim Anselm氏とドイツのCemeConチームによるトレーニングにとっても満足しています」。



Accusharpは、HiPIMSコーティングにより、用途に応じて精密工具の寿命を50~80パーセント延ばすことができました。

将来の課題にも対応

Ilyas Shaikh氏は、HiPIMS技術によってAccusharpは将来的に有利なスタートを切り、新たな市場を切り開くと確信しています。「Accusharpは、工作機械ソリューションをより経済的かつ効率的にすることに關しては、常にリーダー的存在です。HiPIMSコーティング技術のおかげで、既存の製品を改良し、新しい工具や再研磨工具で一貫して良好で再現性のある結果を得るだけでなく、将来の課題に向けて革新的な切削ソリューションを開発することができます。その好例が、重要性を増している微細加工です。HiPIMSを使用することで、この業界で不可欠な、適合した高品質のコーティングを提供することができます」。